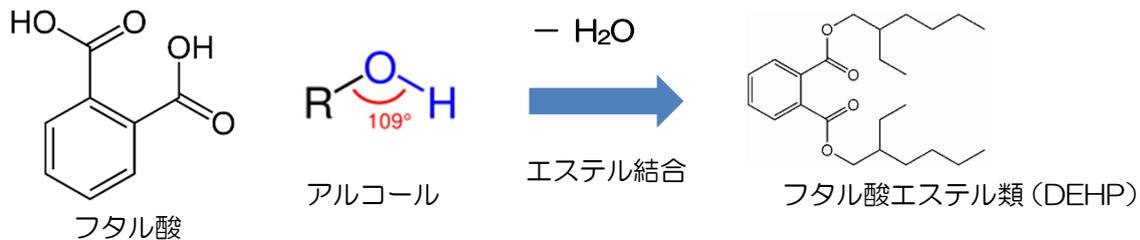


## フタル酸エステル類について

フタル酸エステル類は可塑剤として様々なものに利用されてきましたが、生殖毒性が疑われています。このため、2015年6月4日欧州委員会は、「RoHS指令の付属書II」に表1の4種のフタル酸エステル類を追加しました。

### ・フタル酸エステル類

フタル酸エステル類とはフタル酸とアルコールがエステル結合した化合物の総称です。



特性：室温で無色透明の液体、油状の粘性物質。融点は-50℃～-25℃、沸点は340℃～420℃。室温での蒸気圧は極めて低い。

### ・フタル酸エステル類の用途

フタル酸エステル類は主に塩化ビニルを中心としたプラスチックに柔軟性を与える可塑剤です。また安価で効果も高いことから塗料・顔料・接着剤などに幅広く使用されている物質です。下記の表1に記載した物質についてはフタル酸エステル類が使用されている可能性があるため注意が必要です。

フタル酸ジイソブチル (DIBP)	可塑剤、塗料、ラッカー、ワニス、紙、パルプおよびボード中接着剤、バインディング剤、柔軟剤、粘性調節剤、コーティング、例えば滑り止めコーティング、エポキシ修理モルタル
フタル酸ジブチル (DBP)	ケーブル、プラグ、ゴム足、チューブ、コーティングされたバスケット、シーリングリスト、糊およびシーラント、滑り止めコーティング、鍵、装飾/プリント、緩衝材、接着剤、塗料
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	床材、合成皮革、コーティングされた布、軟質、硬質PVCシート、印刷インク、シーラント、接着剤、塗料
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)	可塑剤、床材、壁紙、フィルム・シート、電線被膜、コンパウンド、ホース・ガスケット、塗料・顔料・接着剤、レザー、履物、車両用アンダーコート・シーリング

表1 各フタル酸エステル類の用途

### ・フタル酸エステル類の移行性について

フタル酸エステル類の移行性については、空気中への揮発による移行の可能性は低いと考えられます。一方、接触している場合には、移行する可能性があるため、温度、接触面積、接触する時間、接触する物質同士の素材により、移行量は異なると考えられます。高温かつ接触時間が長い場合には、移行する可能性が高いため、状況に応じ移行がないか確認することをお勧めします。

詳しくは、当社 研究開発部 五月女(内線377)、佐藤(旭)(内線428)まで、お気軽にお問合せください。

